

トラゼンタ錠 5mg

【この薬は？】

販売名	トラゼンタ錠 5mg Trazenta Tablets 5mg
一般名	リナグリプチン Linagliptin
含有量 (1錠中)	リナグリプチン 5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、糖尿病用薬の中の、選択的DPP-4（ジペプチジルペプチダーゼ4）阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し、血糖値に応じてインスリン（血糖値を下げる働き）の分泌を促進するなどして血糖コントロールを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

2型糖尿病

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にトラゼンタ錠に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
- ・糖尿病性のケトアシドーシス（悪心、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・スルホニルウレア剤を使用している人、またはインスリン製剤を使用している人
- ・脳下垂体機能に異常のある人、または副腎機能に異常のある人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、または衰弱している人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・飲酒量が多い人
- ・過去に腹部の手術をしたり、腸閉塞になったことのある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1錠
飲む回数	1日1回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、できるだけ早く飲み忘れた分（1回分）を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は飲み忘れた分をとばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・低血糖症状（強い空腹感、冷や汗、動悸（どうき）、手足のふるえ、脱力感、意識がうすれるなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）を併用している場合は、ブドウ糖

をとってください。この薬を使用するにあたっては、患者さんやご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。

- ・スルホニルウレア剤またはインスリン製剤と併用した場合、低血糖症状がおこりやすくなるため、医師の判断で、スルホニルウレア剤の飲む量やインスリン製剤の使用量が減らされることがあります。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性がありますので、糖尿病用薬を飲んでいることを必ず家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を3ヶ月使用しても十分に効果が得られない場合は、治療が変更される場合もあります。
- ・不養生や感染症の合併などにより薬が十分にきかなくなることがあります。
- ・急性膵炎（初期症状として、持続的なおなかの激しい痛み、嘔吐（おうと）など）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




重大な副作用	主な自覚症状
低血糖症 ていけつとうしょう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちようへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
類天疱瘡 るいてんぼうそう	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中への痛み、お腹にあざができる、お腹が張る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、発熱、体がだるい、力が入らない
頭部	意識の低下

部位	自覚症状
顔面	血の気が引く
口や喉	吐き気、嘔吐、咳
胸部	息切れ、息苦しい
腹部	お腹がすく、腹痛、お腹が張る、食欲不振、激しい上腹部の痛み
背中	背中痛み
手・足	手足のふるえ
皮膚	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、お腹にあざができる
便	便やおならが出にくい

【この薬の形は？】

販売名	トラゼンタ錠 5mg
形状	円形の錠剤 
直径	約 8mm
厚さ	約 3.5mm
重さ	約 185mg
色	淡赤色
識別コード	 D 5
P T Pシート	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トラゼンタ錠 5mg
有効成分	リナグリプチン
添加物	D-マンニトール、部分アルファー化デンプン、トウモロコシデンプン、コポリビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、マクロゴール 6000 N F、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
(<http://www.boehringer-ingelheim.co.jp>)

DIセンター

電話：0120-189-779

受付時間：9：00～18：00

(土、日、祝日、弊社休業日を除く)